

活動名	<small>ななやしろ</small> 加治川地区公民館「七社塾」(H27～) 豊浦地区公民館「豊浦土曜学習教室」(H28～) 紫雲寺地区公民館「紫雲寺教室」(H28～)	統括コーディネーターの有無	無	子どもの平均参加人数	㊦23人 ㊧38人 ㊨17人	年間開催予定日数	㊦40日 ㊧34日 ㊨33日	開始年度	㊦H27 ㊧H28 ㊨H28	企業・NPO等との連携	無
市町村名	新発田市										
関係する学校	㊦加治川中学校区(加治川小、加治川中) ㊧豊浦中学校区(中浦小、天王小、荒橋小、本田小、豊浦中) ㊨紫雲寺中学校区(紫雲寺小、米子小、藤塚小、紫雲寺中)	実施場所		㊦加治川地区公民館 ㊧豊浦地区公民館 ㊨紫雲寺地区公民館							

### こんなふうに取り組んでいます (活動の概要)

ねらい、目指すことは…

「見直そう生活習慣・学習習慣、身に付けよう自学の力」をコンセプトに、算数、数学・英語を中心に児童生徒が学習教材を持参し自主学習に取り組む事によって、学習意欲の向上と学習内容の定着を図る。

・活動内容：自主学習の支援

・対象：小学校5年生から中学校3年生までの希望者 ※地区の対象児童・生徒数 ㊦218人 ㊧284人 ㊨299

・登録塾生：㊦40人(18.3%) ㊧65人(22.9%) ㊨27人(9.0%) ※カッコ内は各校全児童・生徒に対する割合

・登録講師：㊦26人 ㊧20人 ㊨9人 ※いずれも有償ボランティア。各回4～7人

・事業の具体的な様子：運営委員会の開催。学校への相談・依頼。保護者・児童生徒への説明。土曜学習推進員(講師)への説明。補助学習プリントの作成。便りの発行。毎回土曜学習推進員に記載してもらう「振り返りシート」のまとめ。㊦㊧地区は「振り返りシート」のまとめと回覧。さらに㊨は学校にも持参。

こんな苦労や困ったことがありました…

㊦H27年度、土曜学習推進員(講師)が集まらず、商工会議所から塾講師などを紹介いただき、直接依頼を実施。大学・専門学校・市内の高校へ募集依頼の実施(募集要項・申込書の配布と回収)。H28年度、土曜学習推進員(講師)の大学・専門学校・市内の高校生募集は中央公民館が対応

地域への周知・啓発方法は…

小・中学校での保護者・児童生徒への説明会実施 ㊦「七社塾便り」発行。地区公民館たよりに掲載 ㊧地区公民館たよりに「季刊誌」掲載 ㊨たよりに「れんぎょう」発行



### ネットワーク

連携の相手先は…

㊦加治川小学校、加治川中学校、地区運営委員会 ㊧中浦・天王・荒橋・本田小学校、豊浦中学校、地区運営委員会

㊨紫雲寺・米子・藤塚小学校、紫雲寺中学校、地区運営委員会 ※地区運営委員会構成員：育成協会長、PTA会長、各校担当、コーディネーターほか指導者やボランティアの確保は…

<H27年度> ㊦地域の教員経験者への直接依頼、商工会議所より紹介いただいた塾へ依頼、知り合いを通じて依頼、大学、高校への募集など

<H28年度> ㊦㊧㊨各地区館で随時募集。市内大学、短大、高校への募集案内及び地元自治会からの紹介により確保

ネットワークを広げていくために…

・市として今後のビジョンを明確にする ・現在実施している地区公民館の現状と課題を詳細に把握し、課題解決に向けた対策を迅速に行う

・地区公民館の状況についての情報交換 ・地区内自治会組織や社会教育諸団体との連携推進 ・他地区の小・中学校や運営委員会との連携

・若手土曜学習推進員(講師)を中心とした当該候補者への直接的な働きかけ

### 成果と課題

こんな成果がありました！

㊦H27年度末に実施した受講生アンケートでは、参加前に比べて「家庭での学習時間の増加(81.6%)」「学習内容を自分で見つけられるようになった(89.5%)」「やる気がでた(86.8%)」などの結果から、自主学習の定着・習慣化が身に付いていると言える。

㊧H28年7月2日から開始したので、成果はこれからだと思いが、児童・生徒は真剣に取り組んでいる。講師も授業開始前の打合せ、終了後の振り返りで講師間の情報共有を図り、次回に活かしている。

㊨H28年7月9日から開始し、実施回数深まりとともに、手を挙げて質問する受講生が増えている。子どもたちの個性や質問に対するあり方など、講師間における情報共有の重要性に関する認識が深まってきた。

課題と対策、これからの方向は…

㊦社会教育で取り組んでいくには、塾の魅力をさらに広めていく必要がある。⇒塾だよりの継続的発行。

事務局と学校・推進員の協力的な関係の維持。取組の最終的は、学力向上を目指している。2年目に入り保護者の塾に対する関心が高まってきていると感じる。中学校も家庭向け月曆に塾の実施予定を入れてくれる。この取組の継続的実施と予算の確保が必要である。

㊧講師間の連携を図るとともに、児童・生徒や保護者にアンケートを実施し、子どもたちがより勉強しやすい環境づくりに努める。

㊨「紫雲寺教室」の更なる魅力向上を目指し、学校・推進員と事務局の協力的な関係の構築を図る。たよりに「れんぎょう」の継続的発行や地区公民館独自の広報活動を実施し、事業の周知・拡大に努める。

